

7．環境影響評価項目，調査・予測・評価の選定

7. 環境影響評価項目，調査・予測・評価の選定

7.1 環境影響評価項目の選定

7.1.1 環境影響評価要因の抽出

本事業に係るすべての行為のうち，環境への影響が想定される行為（以下，「環境影響要因」と示す）を，「工事による影響」，「存在による影響」及び「供用による影響」に分けて抽出した結果は，表 7.1-1に示すとおりとなる。

表 7.1-1 環境影響要因の抽出

項目		要因の抽出()	抽出の理由
工事による影響	資材等の運搬		既存建築物の取り壊し及び計画建築物の建設に伴い，工事中の資材等の運搬がある。
	重機の稼働		既存建築物の取り壊し及び計画建築物の建設に伴い，工事中の重機の稼働がある。
	切土・盛土・発破・掘削等		計画建築物の建設に伴い，掘削工事がある。
	既存建築物の取り壊し		計画建築物の建設に伴い，既存建築物の取り壊しがある。
	建築物等の建築		本事業は，大規模建築物の建設である。
	工事に伴う排水		計画建築物の建設に伴い，工事中の降雨時に濁水の発生可能性がある。
	その他	×	計画建築物の建設に伴い，上記以外の環境影響要因は想定されない。
存在による影響	改變後の地形	×	本事業は，仙台駅構内の土地であり，地形の改變は行わない。
	樹木伐採後の状態	×	本事業は，仙台駅構内の土地であり，樹木の伐採は行わない。
	改變後の河川・湖沼	×	本事業は，仙台駅構内の土地であり，計画地及びその周辺に河川・湖沼はない。
	工作物の出現		本事業は，大規模建築物の建設である。
	その他		計画建築物の存在に伴い，緑の量(緑被率)を確保することが想定される。
供用による影響	自動車・鉄道等の走行	×	本事業は，商業・宿泊等の用途であり，供用後に計画地内の自動車・鉄道等の走行は想定されない。
	施設の稼働(商業・宿泊施設等)		本事業は，商業・宿泊等の用途であり，供用後の施設の稼働が想定される。
	施設の稼働(立体駐車場)		本事業は，立体駐車場の稼働が想定される。
	人の利用	×	本事業は，商業・宿泊等の用途であることから，供用後における人の利用が想定されるが，本書では，「施設の稼働(商業・宿泊施設等)」に含めることとした。
	有害物質の使用	×	本事業は，商業・宿泊等の用途であり，有害物質の使用は想定されない。
	農薬・肥料の使用	×	本事業は，商業・宿泊等の用途であり，供用後に農薬の使用は想定されない。
	資材・製品・人等の運搬・輸送		本事業は，商業・宿泊等の用途であり，供用後における人・製品等の輸送・運搬が想定される。
	その他	×	計画建築物の供用に伴い，上記以外の環境影響要因は想定されない。

：「要因の抽出」は， ：有，×：無を示す。

7.1.2 環境影響要素の抽出及び環境影響評価項目の選定

「仙台市環境影響評価技術指針」(平成 11 年 4 月 13 日 仙台市告示第 189 号)(以下、「技術指針」という)で示されている環境影響要因により影響を受けることが予想される要素(以下、「環境影響要素」という)の区分を参考に、本事業における環境影響要素を抽出した上で、本事業の内容、地域の特性等を勘案し、本事業の実施における環境影響要因により影響を受けると考えられる環境影響要素との関係を整理し、環境影響評価の項目(以下、「評価項目」という)を選定した。抽出した選定項目は、表 7.1-2 に、選定項目について選定した理由及び選定しなかった理由は、表 7.1-3～表 7.1-7 に示すとおりである。

表 7.1-2 環境影響評価項目の選定

環境影響要素の区分	環境影響要因の区分			工事による影響					存在による影響	供用による影響		
				資材等の運搬	重機の稼働	掘削等 切土・盛土・発破・	既存建築物の取り壊し	建築物等の建築	工事に伴う排水	工作物等の出現 その他	(商業・宿泊施設等) 施設の稼働 (立体駐車場) 施設の稼働	資材・製品・人等の 運搬・輸送
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	大気環境	大気質	二酸化窒素									
			二酸化イオウ									
			浮遊粒子状物質									
			粉じん									
			有害物質									
			その他									
			騒音									
			振動									
			低周波音									
			悪臭									
	水環境	水質	水の汚れ									
			水の濁り									
			富栄養化									
			溶存酸素									
			有害物質									
			水温									
			その他									
		底質	底質									
			地下水汚染									
		水象	水源									
			河川流・湖沼									
			地下水・湧水									
			海域									
			水辺環境									
	その他の環境	その他										
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	植物		植物相及び注目すべき種									
			植生及び注目すべき群落									
			樹木・樹林地等(緑の量)									
			森林等の環境保全機能									
	動物		動物相及び注目すべき種									
			注目すべき生息地									
	生態系		地域を特徴づける生態系									
			自然的景観資源									
			文化的景観資源									
人と自然との豊かな触れ合いの確保及び歴史的、文化的遺産への配慮を旨として予測及び評価されるべき項目	景観		眺望									
	自然との触れ合いの場		自然との触れ合いの場									
	文化財		指定文化財									
	廃棄物等		廃棄物									
			残土									
			水利用									
			その他									
環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な都市の構築及び地球環境保全への貢献を旨として予測及び評価されるべき項目	温室効果ガス等		二酸化炭素									
			その他の温室効果ガス									
			オゾン層破壊物質									
			熱帯材使用									
			その他									

： 選定項目 ： 配慮項目を示す

表 7.1-3 影響評価項目の選定結果まとめ(1/5)

環境影響要素		環境影響要因		選定	選定の理由
大気質	二酸化窒素	工事	・資材等の運搬		工事用車両の走行に伴う排出ガスによる影響が考えられることから、項目として選定することとした。
			・重機の稼働		建設機械の稼働に伴う排出ガスによる影響が考えられることから、項目として選定することとした。
		供用	・施設の稼働(商業・宿泊施設等)		施設の稼働(商業・宿泊施設等)に伴う排出ガスによる影響が考えられることから、項目として選定することとした。
			・施設の稼働(立体駐車場)		施設の稼働(立体駐車場)に伴う排出ガスによる影響が考えられることから、項目として選定することとした。
			・資材・製品・人等の運搬・輸送		施設利用・業務関連交通の走行に伴う排出ガスによる影響が考えられることから、項目として選定することとした。
	二酸化硫黄	-	-	-	二酸化硫黄を発生させる大規模な空調等はないと想定されることから、項目として選定しないこととした。
	浮遊粒子状物質	工事	・資材等の運搬		工事用車両の走行に伴う排出ガスによる影響が考えられることから、項目として選定することとした。
			・重機の稼働		建設機械の稼働に伴う排出ガスによる影響が考えられることから、項目として選定することとした。
		供用	・施設の稼働(立体駐車場)		施設の稼働(立体駐車場)に伴う排出ガスによる影響が考えられることから、項目として選定することとした。
			・資材・製品・人等の運搬・輸送		施設利用・業務関連交通の走行に伴う排出ガスによる影響が考えられることから、項目として選定することとした。
	粉じん	工事	・掘削		計画地は、仙台駅構内であるが、掘削工事に伴って一時的に裸地化した造成面が乾燥化し強風によって巻き上げられる等により粉じんの発生が予想されることから、配慮項目として選定することとした。
			・既存建築物の取り壊し		計画地は、仙台駅構内であるが、既存建築物の取り壊しに伴って一時的に裸地化した造成面が乾燥化し強風によって巻き上げられる等により粉じんの発生が予想されることから、配慮項目として選定することとした。
	有害物質	工事	・既存建築物の取り壊し		既存建物における調査において、アスベストを確認したことから、項目として選定することとした。
騒音	騒音	工事	・資材等の運搬		工事用車両の走行に伴う建設作業騒音による影響が考えられることから、項目として選定することとした。
			・重機の稼働		建設機械の稼働に伴う建設作業騒音による影響が考えられることから、項目として選定することとした。
		供用	・施設の稼働(立体駐車場)		施設の稼働(立体駐車場)に伴う道路交通騒音の影響が考えられることから、項目として選定することとした。
			・資材・製品・人等の運搬・輸送		施設利用・業務関連交通の走行に伴う道路交通騒音の影響が考えられることから、項目として選定することとした。
			・施設の稼働(商業・宿泊施設等)		施設の稼働(商業・宿泊施設等)において、空調等による騒音の影響が考えられることから、項目として選定することとした。
振動	振動	工事	・資材等の運搬		工事用車両の走行に伴う建設作業振動による影響が考えられることから、項目として選定することとした。
			・重機の稼働		建設機械の稼働に伴う建設作業振動による影響が考えられることから、項目として選定することとした。
		供用	・資材・製品・人等の運搬・輸送		施設利用・業務関連交通の走行に伴う道路交通振動の影響が考えられることから、項目として選定することとした。
			・施設の稼働(商業・宿泊施設等)		施設の稼働(商業・宿泊施設等)において、空調等による振動の影響が考えられるが、必要に応じて免振装置などを設置するなど振動への影響は無いと考えられることから配慮項目として選定することとした。

注)「選定」欄において、○：評価項目として選定した項目、△：配慮項目として選定した項目、
-：選定しない項目を示す。

表 7.1-4 環境影響評価項目の選定結果まとめ(2/5)

環境影響要素		環境影響要因		選定	選定の理由
低周波音	低周波音	供用	・施設の稼働 (商業・宿泊施設等)		低周波音を発生させる建設機械は使用しない。ただし、供用後の施設の稼働(商業・宿泊施設等)において、空調等による低周波音の影響が考えられるが、必要に応じて、遮音壁及び免振装置を設置することから、配慮項目として選定することとした。
	悪臭	供用	・施設の稼働 (商業・宿泊施設等)		商業・宿泊施設の稼働により発生する廃棄物等の悪臭の影響が考えられるが、脱臭装置等により処理をすることから、配慮項目として選定することとした。
水質	水の汚れ	工事	・工事に伴う排水		工事に伴う排水は公共下水道に排出する予定であることから、配慮項目として選定することとした。
		供用	・施設の稼働 (商業・宿泊施設等)		施設の稼働(商業・宿泊施設等)による排水は、除害設備により処理した後、公共下水道に排出する予定であることから、配慮項目として選定することとした。
	水の濁り	工事	・工事に伴う排水		掘削工事に伴い、降雨時に濁水が発生することが予想されるが、沈砂槽等による処理をした後に公共下水道へ排水するため、影響は生じないものと考えられることから、配慮項目として選定することとした。
	富栄養化，溶存酸素，水温	-	-	-	本事業に係る排水は、閉鎖性水域などに排出しないことから、項目として選定しないこととした。
	有害物質	-	-	-	施設の稼働(商業・宿泊施設等)による排水は、有害物質を発生させる施設等はないものと想定している。また、排水は、除害設備により処理した後、公共下水道に排出する予定であることから、項目として選定しないこととした。
底質	底質	-	-	-	掘削工事に伴い、降雨時に濁水が発生することが予想されるが、沈砂槽等による処理をした後に公共下水道へ排水するため、影響はないものと考えられることから、項目として選定しないこととした。
地下水汚染	地下水汚染	-	-	-	掘削工事に伴い、降雨時に濁水が発生することが予想されるが、沈砂槽等による処理をした後に公共下水道へ排水するため、影響はないものと考えられることから、項目として選定しないこととした。
水象	水源，河川流・湖沼，海域，水辺環境	-	-	-	計画地は、仙台駅構内に建設する計画であり、水源・河川流・湖沼・海域・水辺環境に及ぼす工事や施設の稼働はないことから、影響はないと考えられることから、項目として選定しないこととした。
	地下水・湧水	工事	・掘削		地下躯体のための掘削により、地下水に影響を及ぼす可能性があると考えられることから、存在による影響を含めて項目として選定することとした。
			・既存建築物の取り壊し		既存建築物の取り壊しにより、地下水に影響を及ぼす可能性があると考えられることから、選定することとした。
			・建築物の建築		建築物の建築により、地下水に影響を及ぼす可能性があると考えられることから、存在による影響を含めて項目として選定することとした。
		存在	・工作物等の出現		建築物の建築により、地下水に影響を及ぼす可能性があると考えられることから、存在による影響を含めて項目として選定することとした。
		供用	・施設の稼働 (商業・宿泊施設等)		施設の稼働(商業・宿泊施設等)において、井水を利用する可能性があることから、項目として選定することとした。

注)「選定」欄において、
 ○：評価項目として選定した項目，
 △：配慮項目として選定した項目，
 -：選定しない項目を示す。

表 7.1-5 環境影響評価項目の選定結果まとめ(3/5)

環境影響要素		環境影響要因		選定	選定の理由
地形・地質	現況地形	-	-	-	計画地は、仙台駅構内に建設する計画で、計画地は既に造成された土地であり、地下工事時の掘削では十分な山留を行うことから、現況地形への影響はないものと考えられることから、項目として選定しないこととした。
	注目すべき地形	-	-	-	計画地及び周辺には注目すべき地形は存在しないことから、本事業による周辺の地形・地質に及ぼす影響はないと考えられることから、項目として選定しないこととした。
	土地の安定性	-	-	-	計画地は、仙台駅構内に建設する計画で、計画地は既に造成された土地であり、地下工事時の掘削では十分な山留を行うことから、計画地の崩落等はなく、土地の安定性は確保されるものと考えられることから、項目として選定しないこととした。
地盤沈下	地盤沈下	工事	・掘削		地下躯体のための掘削により、地下水の湧出による地盤沈下が発生する可能性が考えられることから、項目として選定することとした。
			・既存建築物の取り壊し		既存建築物の取り壊しにより、地下水の湧出による地盤沈下が発生する可能性が考えられることから、項目として選定することとした。
			・建築物の建築		建築物の建築により、地下水の湧出による地盤沈下が発生する可能性が考えられることから、項目として選定することとした。
		存在	・工作物等の出現		工事中に既存建築物の取り壊しおよび地下躯体のための掘削を行い、建築物の建築を行うことから、地下水の湧出による地盤沈下が発生する可能性が考えられることから、存在による影響を含めて項目として選定することとした。
		供用	・施設の稼働 (商業・宿泊施設等)		現段階では、施設の稼働(商業・宿泊施設等)において井水を利用しない計画としているが、今後利用する可能性があることから、配慮項目として選定することとした。
土壌汚染	土壌汚染	工事	・掘削 ・既存建築物の取り壊し ・建築物の建築		本事業においては、有害物質の使用・保管・処分等を行わない。ただし、現在実施している地歴調査の結果や工事中において、想定されない土壌汚染が確認される可能性があるため、確認された場合は、土壌汚染対策法に基づき処理することとし、配慮項目として選定する。
電波障害	電波障害	存在	・工作物等の出現		建築物の存在により周辺のテレビ電波状況に変化が生じるものと考えられることから、項目として選定することとした。
日照障害	日照障害	存在	・工作物等の出現		建築物の存在により周辺の日照に変化が生じるものと考えられることから、項目として選定することとした。
風害	風害	存在	・工作物等の出現		建築物の存在により周辺の風の状況に変化が生じるものと考えられることから、項目として選定することとした。

注)「選定」欄において、○：評価項目として選定した項目，△：配慮項目として選定した項目，
-：選定しない項目を示す。

表 7.1-6 環境影響評価項目の選定結果まとめ(4/5)

環境影響要素		環境影響要因		選定	選定の理由
植物	植物相及び注目すべき種	-	-	-	計画地は、仙台駅構内であり、注目すべき種は存在しない。また、計画地近傍は中心市街地であることから、植物相及び注目すべき種への影響はないものと考えられることから、項目として選定しないこととした。
	植生及び注目すべき群落	-	-	-	計画地は、仙台駅構内であり、注目すべき群落は存在しない。また、計画地近傍は中心市街地であることから、植生及び注目すべき群落への影響はないものと考えられることから、項目として選定しないこととした。
	樹木・樹林地等(緑の量)	存在	・その他		計画地は、仙台駅構内であり、注目すべき種及び群落等は存在しない。ただし、計画地は「仙台市都心部緑化重点地区」に含まれることから、配慮項目として選定することとした。
	森林等の環境保全機能	-	-	-	計画地は、仙台駅構内であり、森林等は存在しない。また、計画地近傍は中心市街地であることから、森林等の環境保全機能への影響はないものと考えられることから、項目として選定しないこととした。
動物	動物相及び注目すべき種(鳥類)	存在	・工作物等の出現		計画地は、仙台駅構内であり、注目すべき種は存在しない。また、計画地近傍は中心市街地であることから、動物相及び注目すべき種への影響はないものと考えられる。ただし、鳥類は、飛翔するなど工作物の出現による影響のおそれがあることから、配慮項目として選定することとした。
	注目すべき生息地	-	-	-	計画地は、仙台駅構内であり、注目すべき生息地は存在しない。また、計画地近傍は中心市街地であることから、注目すべき生息地への影響はないものと考えられることから、項目として選定しないこととした。
生態系	地域を特徴づける生態系	存在	・工作物等の出現		計画地は、仙台駅構内であり、地域を特徴付ける生態系は存在しない。ただし、植栽等により新たな生態系が創出することが想定されることから、配慮項目として選定することとした。
		供用	・施設の稼働(商業・宿泊施設等)		
景観	自然的景観資源	存在	・工作物等の出現		建築物の存在により周辺の景観資源の変化が生じると考えられることから、項目として選定することとした。
	文化的景観資源	存在	・工作物等の出現		建築物の存在により周辺の景観資源の変化が生じると考えられることから、項目として選定することとした。
	眺望	存在	・工作物等の出現		建築物の存在により周辺の眺望の変化が生じると考えられることから、項目として選定することとした。
自然との触れ合いの場	自然との触れ合いの場	-	-	-	計画地近傍には、宮城野通等の触れ合いの場があるものの、工事用車両の走行及び供用後の施設利用・業務関連交通の走行による影響はないものと考えられることから、項目として選定しないこととした。
文化財	指定文化財等	-	-	-	本事業は、仙台駅構内であり、埋蔵文化財包蔵地を含まない。また、工事に当たっては調査結果を踏まえ関係機関と協議し、適切に対処することから、項目として選定しないこととした。

注)「選定」欄において、○：評価項目として選定した項目、△：配慮項目として選定した項目、
-：選定しない項目を示す。

表 7.1-7 環境影響評価項目の選定結果まとめ(5/5)

環境影響要素		環境影響要因		選定	選定の理由
廃棄物等	廃棄物	工事	・掘削		掘削工事により、残土及び建設廃棄物の発生が考えられることから、項目として選定することとした。
			・既存建築物の取り壊し		既存建築物の取り壊しにより、廃棄物の発生が考えられることから、項目として選定することとした。なお、PCB については、既存建物の設計図書を基に、調査等を実施し、確認された場合は、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理に関する特別措置法について」に基づき、保管、処理することとする。
			・建築物等の建築		建築物等の建築により廃棄物の発生が考えられることから、項目として選定することとした。
		供用	・施設の稼働(商業・宿泊施設等)		施設の稼働(商業・宿泊施設等)により、廃棄物の発生が考えられることから、項目として選定することとした。
	残土	工事	・掘削		掘削工事により、残土の発生が考えられることから、項目として選定することとした。
	水利用	供用	・施設の稼働(商業・宿泊施設等)		施設の稼働(商業・宿泊施設等)により、水利用が考えられることから、項目として選定することとした。
温室効果ガス等	二酸化炭素	工事	・資材等の運搬		資材等の運搬により、二酸化炭素の発生が予想されることから、項目として選定することとした。
			・重機の稼働		重機の稼働により、二酸化炭素の発生が予想されることから、項目として選定することとした。
		供用	・施設の稼働(商業・宿泊施設等)		供用後の施設の稼働(商業・宿泊施設等)により、二酸化炭素の発生が予想されることから、項目として選定することとした。
	その他の温室効果ガス、オゾン層破壊物質	供用	・施設の稼働(商業・宿泊施設等)		供用後の施設の稼働(商業・宿泊施設等)により、事業者としては、温室効果ガス及びオゾン層破壊物質を排出する機器を選定しないように努め、テナント設置者に対しても、同様に周知することから、配慮項目として選定することとした。
	熱帯材使用	工事	・建築物等の建築		熱帯材使用については、できるだけ非木質の型枠を極力採用し、基礎工事や地下躯体工事においては、計画的に型枠を転用することに努めることから、配慮項目として選定することとした。

注)「選定」欄において、
 ○：評価項目として選定した項目、
 △：配慮項目として選定した項目、
 -：選定しない項目を示す。

7.2 東日本大震災による環境影響評価の内容の見直しについて

なお、環境影響評価方法書の提出後に東日本大震災が発生したが、仙台駅東口周辺は、東日本大震災による影響をあまり受けていない地域である。事業計画の変更を想定していないこと、仙台駅の周辺の交通事情はほとんど変わらないと考えられることから、東日本大震災による環境影響要素の抽出及び環境影響評価項目の選定の変更は行っていない。

見直しの内容については、表 7.2-1～表 7.2-4に示すとおりである。

表 7.2-1 東日本大震災による環境影響評価の内容の見直しについて(1/4)

環境影響要素		環境影響要因		選定	環境影響評価の内容の変更について
大気質	二酸化窒素	工事	・ 資材等の運搬		【変更なし】 東日本大震災による工事用車両や建設機械の変化(台数の増減や規格の変更)は想定されない。
			・ 重機の稼働		
		供用	・ 施設の稼働 (商業・宿泊施設等)		【変更なし】 東日本大震災による用途(商業・宿泊施設)の変更や立体駐車場の内容に変更はない。また、施設利用・業務関連交通に係る発生集中交通量の変更は無い。
			・ 施設の稼働 (立体駐車場)		
			・ 資材・製品・人等の運搬・輸送		
	二酸化硫黄	-	-	-	【変更なし】 二酸化硫黄を発生させる大規模な空調等はない。
	浮遊粒子状物質	工事	・ 資材等の運搬		【変更なし】 二酸化窒素と同じ
			・ 重機の稼働		
		供用	・ 施設の稼働 (立体駐車場)		【変更なし】 二酸化窒素と同じ
			・ 資材・製品・人等の運搬・輸送		
粉じん	工事	・ 掘削		【変更なし】 東日本大震災による工事用車両や建設機械の変化(台数の増減や規格の変更)は想定されない。	
		・ 既存建築物の取り壊し			
有害物質	工事	・ 既存建築物の取り壊し		【変更なし】 東日本大震災によって新たに有害物質が発生することは想定していない。	
騒音	騒音	工事	・ 資材等の運搬		【変更なし】 東日本大震災による工事用車両や建設機械の変化(台数の増減や規格の変更)は想定されない。
			・ 重機の稼働		
		供用	・ 施設の稼働 (立体駐車場)		【変更なし】 東日本大震災による用途(商業・宿泊施設)の変更や立体駐車場の内容に変更はない。また、施設利用・業務関連交通に係る発生集中交通量の変更は無い。
			・ 資材・製品・人等の運搬・輸送		
			・ 施設の稼働 (商業・宿泊施設等)		
振動	振動	工事	・ 資材等の運搬		【変更なし】 東日本大震災による工事用車両や建設機械の変化(台数の増減や規格の変更)は想定されない。
			・ 重機の稼働		
		供用	・ 資材・製品・人等の運搬・輸送		【変更なし】 東日本大震災による用途(商業・宿泊施設)の変更はない。また、施設利用・業務関連交通に係る発生集中交通量の変更は無い。
			・ 施設の稼働 (商業・宿泊施設等)		
低周波音	低周波音	供用	・ 施設の稼働 (商業・宿泊施設等)		【変更なし】 東日本大震災による用途(商業・宿泊施設)の変更はない。
悪臭	悪臭	供用	・ 施設の稼働 (商業・宿泊施設等)		【変更なし】 東日本大震災による用途(商業・宿泊施設)の変更はない。

注)「選定」欄において、○：評価項目として選定した項目、△：配慮項目として選定した項目、-：選定しない項目を示す。

表 7.2-2 東日本大震災による環境影響評価の内容の見直しについて(2/4)

環境影響要素		環境影響要因		選定	選定の理由
水質	水の汚れ	工事	・ 工事に伴う排水		【変更なし】 東日本大震災による排水計画の変更はない。
		供用	・ 施設の稼働 (商業・宿泊施設等)		
	水の濁り	工事	・ 工事に伴う排水		【変更なし】 東日本大震災によって、富栄養化、溶存酸素、水温(高温)を新たに排出することは想定していない。
	富栄養化， 溶存酸素， 水温	-	-	-	
	有害物質	-	-	-	
底質	底質	-	-	-	【変更なし】 東日本大震災による排水計画の変更はない。
地下水汚染	地下水汚染	-	-	-	【変更なし】 東日本大震災による排水計画の変更はない。
水象	水源，河川 流・湖沼， 海域， 水辺環境	-	-	-	【変更なし】 東日本大震災による工事計画や事業計画の変更はない。
	地下水・湧水	工事	・ 掘削		【経過観察】 東日本大震災による掘削量，既存建築物の取り壊し等事業計画にかかる変更はない。 地下水の一時的な低下はあるものの，その後回復している状況にある。 よって，水象(地下水)の項目については，震災の影響が一時的なのか長期的なのかを観測により判断し，予測・評価内容を検討することとする。
			・ 既存建築物の取り壊し		
			・ 建築物の建築		
		存在	・ 工作物等の出現		
		供用	・ 施設の稼働 (商業・宿泊施設等)		
地形・地質	現況地形	-	-	-	【変更なし】 東日本大震災による工事計画の変更はない。
	注目すべき地形	-	-	-	【変更なし】 計画地及び周辺には注目すべき地形は存在しない。
	土地の安定性	-	-	-	【変更なし】 東日本大震災による工事計画の変更はない。
地盤沈下	地盤沈下	工事	・ 掘削		【経過観察】 地下躯体のための掘削，既存建築物の取り壊し，建築物の建築により，地下水の湧出による地盤沈下が発生する可能性が考えられることから，項目として選定している。東日本大震災後，地下水の一時的な低下はあるものの，その後回復している状況にある。 震災の影響が一時的なのか長期的なのかを水準測量及び地下水観測により判断し，予測・評価内容を検討することとする。
			・ 既存建築物の取り壊し		
			・ 建築物の建築		
		存在	・ 工作物等の出現		
		供用	・ 施設の稼働 (商業・宿泊施設等)		
土壌汚染	土壌汚染	工事	・ 掘削 ・ 既存建築物の取り壊し ・ 建築物の建築		【変更なし】 東日本大震災による，土壌汚染に係る環境影響評価の考え方に変更はない。

注)「選定」欄において，
 ○：評価項目として選定した項目，
 △：配慮項目として選定した項目，
 -：選定しない項目を示す。

表 7.2-3 東日本大震災による環境影響評価の内容の見直しについて(3/4)

環境影響要素		環境影響要因		選定	選定の理由
電波障害	電波障害	存在	・ 工作物等の出現		【変更なし】 東日本大震災による，建築計画の変更はない。
日照障害	日照障害	存在	・ 工作物等の出現		【変更なし】 東日本大震災による，建築計画の変更はない。
風害	風害	存在	・ 工作物等の出現		【変更なし】 東日本大震災による，建築計画の変更はない。
植物	植物相及び注目すべき種	-	-	-	【変更なし】 東日本大震災による工事計画や事業計画の変更はない。
	植生及び注目すべき群落	-	-	-	
	樹木・樹林地等(緑の量)	存在	・ その他		
	森林等の環境保全機能	-	-	-	
動物	動物相及び注目すべき種(鳥類)	存在	・ 工作物等の出現		【変更なし】 東日本大震災による工事計画や事業計画の変更はない。
	注目すべき生息地	-	-	-	
生態系	地域を特徴づける生態系	存在	・ 工作物等の出現		【変更なし】 東日本大震災による工事計画や事業計画の変更はない。
		供用	・ 施設の稼働(商業・宿泊施設等)		
景観	自然的景観資源	存在	・ 工作物等の出現		【変更なし】 東日本大震災後において，眺望地点は存在する。
	文化的景観資源	存在	・ 工作物等の出現		
	眺望	存在	・ 工作物等の出現		
自然との触れ合いの場	自然との触れ合いの場	-	-	-	【変更なし】 東日本大震災による工事計画や事業計画の変更はない。

注) 「選定」欄において，
 ・ : 評価項目として選定した項目，
 ○ : 配慮項目として選定した項目，
 - : 選定しない項目を示す。

表 7.2-4 東日本大震災による環境影響評価の内容の見直しについて(4/4)

環境影響要素		環境影響要因		選定	選定の理由
文化財	指定文化財等	-	-	-	【変更なし】 東日本大震災による事業計画の変更はない。
廃棄物等	廃棄物	工事	・掘削		【変更なし】 東日本大震災による工事計画の変更はない。
			・既存建築物の取り壊し		
			・建築物等の建築		
		供用	・施設の稼働 (商業・宿泊施設等)		【変更なし】 東日本大震災による事業計画の変更はない。
	残土	工事	・掘削		【変更なし】 東日本大震災による工事計画の変更はない。
	水利用	供用	・施設の稼働 (商業・宿泊施設等)		【変更なし】 東日本大震災による事業計画の変更はない。
温室効果ガス等	二酸化炭素	工事	・資材等の運搬		【変更なし】 東日本大震災による工事計画の変更はない。
			・重機の稼働		
		供用	・施設の稼働 (商業・宿泊施設等)		【変更なし】 東日本大震災による事業計画の変更はない。
	その他の温室効果ガス, オゾン層破壊物質	供用	・施設の稼働 (商業・宿泊施設等)		【変更なし】 東日本大震災による事業計画の変更はない。
	熱帯材使用	工事	・建築物等の建築		【変更なし】 東日本大震災による工事計画の変更はない。

注) 「選定」欄において, : 評価項目として選定した項目, : 配慮項目として選定した項目,
- : 選定しない項目を示す。